



はつらつとした産業活力都市

融資限度額を引き上げ

景気の低迷が続くなか、中小企業に対する各種融資制度の貸付限度額を引き上げ、経営基盤の強化を支援します。また、新幹線や高速道路の開通にともなう観光セールスも積極的に展開。秋田港を活用した貿易振興にも力を入れます。

中心市街地の活性化構想を策定

中小企業の資金需要への対応と景気対策のため、各種融資制度の貸付限度額を引き上げ、長期・低利の事業資金の円滑化をはかります。(詳しくは七面)

中心市街地に、にぎわいのある商業空間を創出するため、中心市街地活性化基本構想を策定

します。日赤・婦人会館跡地の再開発計画とも連携をとりながら、仲小路のモータリ化などを検討し、商業者への支援策をまとめる予定です。中心商店街で商工会議所が行う共通駐車券の発行と無料買い物バスの運行を支援します。

定期フェリーの就航めざす

秋田港の外貿定期コンテナ便を活用して市内中小企業者が

行う輸出入に対する助成制度を拡充します。(下記参照)

貿易関連産業の振興をはかるため、今年度中に「貿易振興ビジョン」を策定します。現状や問題点を踏まえ、今後の具体的な対応策を明らかにするものです。

秋田港への定期フェリー便の早期就航をめざし、県や民間と一体となって積極的に関係機関に働きかけていきます。

ポータルネットワーク21事業では、ホテルやマリンホールなどからなる多機能複合中核施設整備に向けた事業計画の調整を進めます。

下新城南部地区で農業集落排水事業

自主流通米価格が急激に下落していることなどから、今年度から二年間の予定で、国・県が緊急に実施する事業に本市独自の施策を加え、生産調整目標面積の達成と農家の経営安定につとめていきます。

農産物の共同選定・共同販売の確立につとめ、市内農産物のブランド化をはかっていきます。下新城南部地域で、トイレの水酸化などを可能にする農業集落排水事業の整備調査をします。

消費生活条例で

快適な消費生活を応援
消費生活条例の施行にともな



消費生活条例で快適な消費生活を応援します

い、消費者情報の提供をはじめ、消費生活に関する重要な事項を審議する消費生活審議会を設けたり、消費者講座を開いたりしながら、快適な消費生活を応援します。

公共施設案内予約システムをインターネットからも利用できるようにするなど、インターネットを活用した情報発信を充実します。またケーブルテレビの普及をはかるため、株秋田ケーブルテレビへの出資額を増額します。

首都圏、九州地区へ観光セールス

秋田新幹線や秋田自動車道の全線開通にともなう集客効果を高めるため、広域観光ルートづくりとそのPRを進めます。

首都圏および九州地区への観光PR、観光セールス事業に取り組みます。

大森山動物園では「チンパンジーの森」の基本設計をします。

秋田港を活用する貿易の振興施策です



外貿定期コンテナ船を利用した輸出入量が年々増えています

秋田港輸出入促進補助金(通称:コンテナ補助金)の制度を拡充

市では、秋田市内の中小企業者が秋田港の外国貿易定期コンテナ便を利用して、①初めて輸出入を行うとき、および②これまでと全く異なる種類の品物を輸出入するときに、平成9年度からその輸送料などの一部を補助しています。

これまで同じ品物については1年限りの補助でしたが、今年度から制度を拡充し、同じ品物について年度を越えて継続的に輸出入している場合、事業開始後3年間、補助対象とすることにしました。

ぜひこの制度を利用して、秋田港を活用した輸出入事業の開始や拡大をご検討ください。

補助金額

輸出	最高30万円まで... <small>(例)20フィートコンテナ1本あたり10万円</small>
輸入	最高20万円まで... <small>(例)20フィートコンテナ1本あたり7万円</small>

同一年度内には、1事業者について補助金交付は1回限りです。

貿易関連施設の新増設を支援します

秋田港の臨港地区内において民間企業が貿易関連施設(保冷倉庫など)を新増設する際、投下固定資産総額および新規常用雇用者数について一定の条件を満たすと、財政・税制面での支援を受けられます。該当地区内で設備投資を検討される際は、ぜひご相談ください。

問い合わせ 港湾貿易振興課 ☎(66)2164